

ばってん

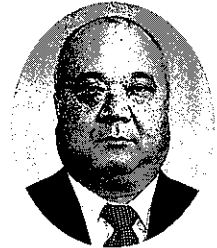
第 8 号

発行 長崎県公立学校事務長会
長崎東高等学校内
〒850-0007 長崎市立山5丁目13番1号
電話 095-826-5281
編集 広報活動委員会

にわか家庭菜園

～野菜栽培作業記録より～

副会長 川原和幸 (佐世保南高等学校)



「ばってん」の原稿を頼まれたものの、書くという事が苦手な私はたいへん困りました。何を書こうかといういろいろ迷い悩んだ結果、手元にあった野菜栽培の記録をつなぎ合わせてみることにしました。拙い文章で読みづらいと思いますがご容赦をお願いします。

休耕田での土・日曜の家庭菜園。初めに、鍬だけで耕すとするとちょっと大変だから、中古でもいいから耕耘機を購入したいと思い友人に相談した。農機具店から少し大きめの管理機を購入した。学校で言えば備品購入か！次に、何事にも環境整備は重要と、石灰・堆肥を撒こうと思ったが金がかかるし、この生産品を売り、生計を支えるわけではないし、と自分に言い訳をしながら経費節約のため石灰だけにする。学校の環境整備も石灰をまくだけの簡単な事ですむならいいのと思いつつ…。今年も土地改良の決め手として石灰をまく作業から始めた。

作る作物は未定のまま適当に。ただ自分自身が栽培しても食べない作物は栽培しない事にしている。次の週から耕す事にし、雑草取りから始める。まず、鶏用の野菜(葉物)の苗作りから取りかかる。大根は、葉大根・時なし大根・青首大根3種類として、トモロコシ・枝豆(これは時期をずらして2回にまく)・種子からのものは以上。後は苗を購入するのがツクネ芋・ナスと限定。スイカ・瓜類は前に栽培した時にカラスに食われてしまったことがあったので中止。里芋は自家製種芋。以上が3月から4月にかけての計画。

わが農園の立地が駐在所の横に位置している。今

年異動で駐在さんが交代された。話をしているうちに3才の子供さんがスイカが好きというので、カラスを警戒しながら植える約束をする。今度は雑草でスイカを保護し、カラスの被害を防ぐ計画。その結果雑草は生い茂り、スイカそのものが雑草の中に埋もれてしまう。結果は上々、雑草は大きく伸びてスイカは埋もれてカラス被害なし。

次に今年はキャベツの苗を50本程購入し植えた。夏の葉物の野菜は青虫等との戦いで、毎日朝夕に虫取り。それでも毎日湧いてくる。恨めしい事この上ない。これが白菜・青梗菜になるともうどうにもならない。有機栽培で無農薬という事をよく耳にするが、虫からの被害をどうやって防いでいるのだろうか？少しの家庭菜園でさえこうして苦勞しているのに……。もうひとつの戦いは、雑草との戦い。5～8月の期間は月に2回ぐらいの草刈りだけでは雑草にまけてしまう。(梅雨時等の雨の多い時期は、根から取ったり、除草剤で枯らしたりすると土が流れてしまう、ということを経験した農家から聞き、草取りをズボラする)。

少しばかりの野菜作りで感じた事は、自然と仲良くしながらの作業が一番だということだ。



—第22回九州地区公立学校事務長会から— 長崎水産高等学校 小園 勝 朗

第22回大会は、本県長崎市で平成12年6月7日～9日の三日間の日程(参加者245名)で開催されました。

開催主管県のため平成11年5月28日、離島を除く各地区22校22名で県実行委員会を組織し、数回の会議を重ね万端を配し開催の運びにいたりしました。

本県スタッフで構成された、総合司会・研究発表・研究協議会司会・総会議長等その流暢な進行は各県の好評を博しました。

研究発表は、沖縄県より「事務職員の事務分掌について(その望ましい在り方、能率化、平均化を求めて)」長崎県より「学校式典マニュアルについて」の2題の発表がありました。研究協議は、沖縄・長崎県を除いた6県からそれぞれ研究課題の提案がありました。

研究発表の一つ目は「事務長補佐職の果たす役割の重要性」を、二つ目は「学校行事に不可欠な記念行事の取り組み方」を事務長の観点から発表されました。取り分け、本県のは記念行事を控えている学校においては関心がひかれた様子でした。

研究協議については「学校経営と事務長のかかわり」「学校における危機管理」「補佐役としての役割に関する一考察」「大分県における高校統廃合の動向」「学校事務運営組織のあり方について」「地震被害

による災害復旧及び補強対策について」の各問題についての研究課題が提案されました。

近年、本県でも現実のものとなるであろう生徒減少期に対応するための高校・学科の適正配置による高校統廃合の実践報告。また、誰でもが心の根底にある学校における危機とその対処、ひいてはマスコミへの対応。前ぶれもなく突然おそってくる地震被害による学校の安全対策や災害時の危機管理などの報告は、事務長職に携わる者としては意義あるものでした。総会時に質問として「研究発表と研究協議の違いについて」が、投げかけられ検討事項として次年度役員に委ねられました。

特別講演は『邂逅—出会い—』と題して長崎県立美術博物館長平田徳男先生の講演で、人が誕生するまでの出会い、男女の出会い、学校での出会い、人と人との出会い等、静かで優しい語り口に深い感銘をうけました。

功労者表彰は17名で、本県では長崎東高校館谷事務長、長崎南高校森事務長、長崎西高校甲斐事務長、佐世保北高校西川事務長の4名が表彰されました。

最後になりますが、教育懇談会における「龍踊り」の出し物は会場全体のモチコイの掛け声を浴び拍手喝采でした。出演者の皆様ご苦勞様でした。

—第24回全国公立学校事務長会から— 大村城南高等学校 矢野 保 之

本年度の全国公立学校事務長会は8月25日(金)に「加賀百万国の国」石川県で開催されました。出席者は約1,200名でした。(長崎県の出席者16名)

開会行事で全国事務長会の牛丸会長は、教育改革にふれて、東京では民間人校長の発令があったことや、学校に緊急事態が生じた時の保護者や地域に対する説明責任等について話されました。文部省挨拶は特色ある学校創り、入学試験の改革、学校評議員制度の活用等が主な内容でした。

功労者表彰では、本県から長崎東高校の館谷事務長、長崎西高校の甲斐事務長、佐世保北高校の西川事務長の3名が表彰されました。おめでとうございます。

文部省講話は、教育助成局地方課の磯田文雄課長が「地方分権と教育改革の背景と方向～学校での実践への期待～」という演題で話をされました。概要は次のとおりです。

1 地方分権一括法の施行

なぜ教育の地方分権かということで、我が国が

おかれている状況、学校教育をめぐる問題状況、制度改革の必要性等を説明し、「まず何よりも児童生徒の実態、地域の実情等を踏まえ、各学校が創意工夫を存分に生かした特色ある教育活動を展開することが重要である。」と述べられました。

2 学校の自主性・自律性の確立ということで、教育委員会と学校の関係の見直しと学校裁量権限の拡大では学校予算の見直し、危機管理等で益々学校の力量が問われることになりそうです。

講演は国指定重要無形文化財保持者(人間国宝)の徳田八百吉氏が「日本陶芸と丸谷焼」という演題でスライドを使用しながらの話でした。

総会の中では、全国事務長会の事務局を開設するための会則改正(案)、事業計画(案)、予算(案)等提出議案は全て原案どおり可決、承認されました。

研究協議では、各都道府県事務長会活動報告、全国基本調査報告、研究活動報告がなされました。

紙面の都合で要領を得ない報告になりましたが以上のとおりです。来年は東京で開催されます。

随想

つばき



継続は力なり

教育庁財務課長 土井 豊 治

財務課長の辞令交付を受けてからすでに5ヵ月を経過しましたが、教育庁勤務は初めてなので、一日も早く学校の現状を見せていただきたいと思います、乗り物酔いと戦いながら意欲的に取り組んだ結果(?), やっと全県立高校の3分の2を訪問させていただきました。

これまで、お忙しい中、学校の案内・説明をお願いいたしました校長先生や事務長さん、関係者の方々には大変お世話になりました。ありがとうございます。なお、日程の関係でまだ訪問できずにいる学校につきましては、近いうちに訪問させていただきたいと思っておりますので、その際はよろしく願います。

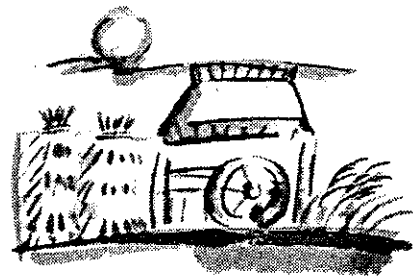
学校の現状を見てまず思ったことは、「施設整備が想像以上に進んでいる」ということでした。たとえば、仕事の関係で卒業以来初めて訪れた母校は、校舎をはじめ第2体育館等の整備が完了し、我々が在校当時建設されていなかったプールを改築中でした。その他の学校についても、特に最近建設された学校の整備状況は目を見張るばかりで、校舎といえばまだ木造のイメージが強かった私には驚きでした。

これらはすべて、長期間に亘る諸先輩方のたゆまぬ努力の賜物であり、私も豊かな教育環境づくりを目指して、皆さんと一緒に頑張って頑張らねばと心を

新にいたしております。

ところで、皆さんはストレス解消のために何か一つでも実践していることがありますか。特に最近仕事も複雑化・多様化してきており、なにかにつけストレスが溜ることが多いようです。私も、昨年は医療分野におけるY2K対策や国立病院の移譲問題等を担当しておりましたが、なかなか仕事が思うように進まず憂鬱な毎日でした。酒でも飲めれば手取り早くいくらかでも発散できたのですが、酒屋の子供でありながらいにく飲めませんので気持ちの切り替えがなかなかできませんでした。そこで、今年度からは、極力歩くことによってストレスの発散を図ることとしております。以前は、友人と長崎街道を歩いたり、長崎市内や近郊の山々に登ったりしておりましたが、ここ1・2年はあまりできない状況でした。時間の関係でそのようなことができなくても、毎日の通勤の際、バスを途中で降りる等して少しでも多く歩くように心掛けております。歩くことでストレス発散に加え運動不足をいくらかでも解消でき、最近体調も少し良くなったような気がいたします。

「継続は力なり」ということばが私は好きですが、歩みが遅くてもストレス解消法と同様、仕事の面においても着実に前に進みたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



編集後記

シドニーオリンピックの開会式が晴れやかに行われている中、テレビ画面に台風14号の動きがリアルタイムに速報で流れています。開会式もクライマックスになり、聖火が水の中から浮かび上がり、観衆が興奮の渦の中にいる頃、台風の渦は五島方面に最も接近し、雨風も強くなってきました。大きな被害にならなければいいが、と思いつつ編集後記のペンを走らせています。

さて、昨今、マスコミや書物等で健康に関することがよく目に飛び込んできますが、「ばってん」の文面上でもみなさんが自己の健康管理に気をつけておられる様子が伺えます。ところが今は秋！食欲の秋！さあ、たいへんです。スポーツの秋と食欲の秋との綱引きです。どちらの力が強いのか、常に自分との苦しい闘いです。ご自分の中の綱引きのぐあいはいかがでしょう？ いろいろと言いつつ「飲食」の方が強くなってはいませんか？

最後になりましたが、今回ご投稿頂きました財務課長様をはじめ多数の事務長様方、ご多忙の中誠にありがとうございました。次の第9号は2001年3月1日発行、21世紀初の「ばってん」です！この記念すべき機会に日頃の思いをぜひご投稿ください。次の「先輩からの発信」はいったいどなたからでしょう？お楽しみにお待ちください。

(山戸)